

環境

環境方針のもと、顧客が環境貢献を実感できる製品の提供や消費するエネルギー等の管理・削減を行い、環境負荷を最小限にすることを目標に活動を行っています。グローバルな生産体制を有していることから、ISO14001の認証統合化を通してガバナンス強化を図ることで、グループ間の情報共有やトップマネジメントによる指示の迅速な展開を確実に実施しています。今後も「ULVAC」製品とその製造プロセスを通し環境負荷の低減を図っていきます。

環境理念

アルバックグループは、地球環境の保全を人類共通の重要課題のひとつとしてとらえ、事業活動のあらゆる面で環境の保全に配慮し、住みよい地球と豊かな社会の発展に貢献します。

環境方針

省エネ・省資源・環境保護に貢献できる商品の提供

- ① 製品(アルバックグループ製品・最終製品)の省エネ・省資源・環境保護
- ② アルバックグループ製造プロセス(工程)における省エネ・省資源・環境保護

2019年度の環境活動

廃棄物総排出量は前年度と比較し17%減少しました。国内は薬剤の変更により酸、アルカリの使用量が減少し、海外は韓国、中国グループの廃棄物が50%程度減少したことが一因と考えられます。

また、エネルギー(電力)使用量削減のため、電気使用量の見える化、電気使用エリアの集約、工場・オフィス照明の100%LED化を目指す等、グループ一体となって取り組んでいます。

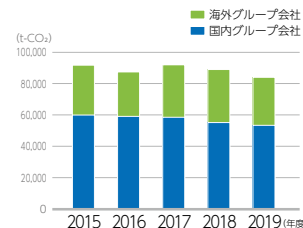
事業活動に起因する環境負荷を下げるため、全社を挙げて今後も引き続き環境管理活動を進めてまいります。

■ マテリアルバランス(2019年度集計結果より)

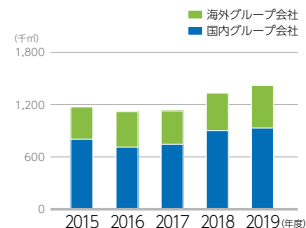
INPUT		OUTPUT	
電気 使用量	172,442kWh	CO ₂ 排出量	83,929t-CO ₂ (電気・ガス・燃料の使用により発生)
ガス 使用量	LPG: 214t LNG: 680t 都市ガス: 1,201千m ³		
燃料 使用量	重油: 33KL 灯油: 26KL 軽油: 166KL	廃棄物 総排出量	7,062t うち 総リサイクル量 6,007t 最終処分量 345.5t
水使用量	1,419千m ³		
梱包材	990t	最終 処分率	4.9%

※本データは主要な国内外37社のデータをもとに作成しています。
※梱包材の使用量は国内外18社のデータをもとに作成しています。

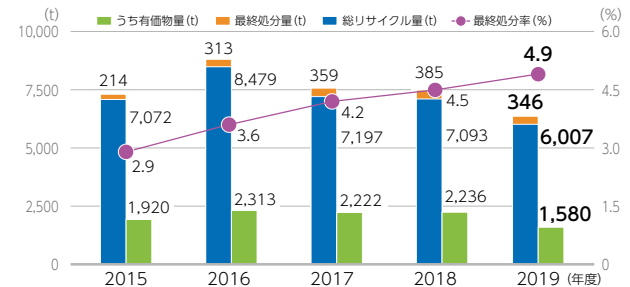
■ CO₂排出量推移



■ 水使用量推移



■ 廃棄物量推移



主な取り組み

マグネットカップリングを搭載した油回転真空ポンプGHDシリーズ／アルバック機工株式会社

油回転真空ポンプには、大気側へ油が流出しないようにロータ軸部にオイルシールが使用されていますが、長時間の運転を行うと摩耗から油が漏れやすくなります。また、接続先の装置側の真空容器内を真空保持した状態でポンプを停止すると、ポンプ油が大気圧に押されて吸気口から真空容器内へ逆流しやすくなるため、ポンプを停止する際には逆流を防止するためのバルブを設置していました。このような問題に対し、アルバック機工株式会社ではモーターからポンプへの動力伝達に使用される接触式カップリングを、大気側軸シールを不要とし磁力で動力伝達を行う、非接触式のマグネットカップリングと吸気口直下に差圧シール型逆流防止弁を搭載したGHDシリーズを販売しています。静寂性、省スペース、油漏れなしをコンセプトとした環境配慮設計となっており、省エネ効果は、接触式の従来モデルと比較して最大20Wの電力削減を実現しています。



油回転真空ポンプ GHD-031

化学物質管理

化学物質は、汎用性や機能性に富み私たちの生活の身近な場所で多く使われています。一方で、人体や環境に有害な物質もあります。ULVACでは、製品を構成する部品・部材(金属、樹脂、塗料など)、製造工程(洗浄等に使用される有機溶剤、潤滑剤など)、及び技術開発(薬品、ガスなど)等の段階で使用される多種多様な化学物質を使用しております。適切に管理し、事故や環境汚染の未然防止に努めています。

プラスチック削減の取り組み

ULVACでは、事業活動のあらゆる面で環境の保全に配慮することが重要と考え、プラスチック削減の取り組みを進めてきました。

国内では、出荷するポンプなどの梱包に使用する梱包材を社内にて再利用することで、梱包材の購入量を、アルバック本社工場とアルバック・ファイ株式会社で前年度比15%、アルバックテクノ株式会社で前年度比24%削減することができました。

優貝克科技股份有限公司では、使い捨ての緩衝材の利用を止め、再利用可能かつ静電防止機能がある緩衝材に変更することでプラスチック使用量を前年度比7%削減することができました。

ULVAC CRYOGENICS KOREA INCORPORATEDでは原材料の供給先からビニール梱包を禁止し、専用台車を供給先へ支給して原材料を入れて貰う活動等を行った結果、ビニール使用量を前年度上期比で30%削減することができました。

ULVACでは、今後もプラスチック使用量の削減やリサイクルに向けた取り組みを推進していきます。



優貝克科技股份有限公司での再利用可能かつ静電防止機能がある緩衝材